

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもみらいサポート あくしす上沢		
○保護者評価実施期間	2025年11月15日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2025年11月15日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月18日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・5領域に沿った、様々な集団療育プログラムの提供。	・毎月決まった領域に対してのプログラムを立案し、支援を行っています。(例:1月【人間関係・社会性】だとしたらその領域に対して1ヶ月間アプローチを行います。)プログラム名としては同じ活動でも5領域に合わせたねらいやアプローチ方法で支援を行い、お子様が楽しみながらプログラムに参加していただけるよう工夫しています。	・お子様の現状に合わせた新しいプログラムを取り入れ、お子様が楽しみながら心身の総合的な成長を促せるようなプログラム内容を提供します。 ・個別療育の実施に関して、現段階では全ご利用者様に対して実施ができていないので、将来的には全てのお子様集団療育と個別療育のどちらも提供できたらと思います。
2	・子どもたちが「楽しい」と感じられる事業所。	・集団療育(プログラム)、自由遊び、ブランコなどの粗大運動遊びなど、1日の中でも様々な活動を取り入れメリハリをつけながら楽しく過ごしていただけるよう工夫しています。	・安全面に留意しながら継続して様々な活動の提供を行い、楽しみながらできることを増やしたり成功体験を積んでいただけるよう支援を行っています。
3	・SNSなどを活用した、日々の療育の様子の共有。	・Instagramを通して毎日の療育の様子を発信しています。	・プログラムに加え、自由時間のご様子などもSNSを通して発信し、保護者様が安心して事業所をご利用いただけるよう支援します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館、地域の他の子どもと活動する機会の提供。	・系列の事業所や近隣の事業所との交流は定期的に行っていますが、基本的には事業所内でのプログラムに注力しており、現状としては放課後児童クラブや児童館との交流は行っていません。	・買い物実習や調理実習、レモネードスタンドの実施など、地域の中で活動できるプログラムを通して地域のお子様と交流できる機会を設けられるよう工夫していきます。
2	・事業所の設備等のバリアフリー化。	・建物の構造上エレベーターの設置なども難しく、バリアフリーにはなっていません。	・完全なバリアフリー化は難しいですが、階段やトイレには手すりを設置し、お子様の階段の上り下りの際には引き続き必ず職員が付き添い、安全を確保しながら支援にあたります。
3	・父母の会の活動の支援や、保護者会、兄弟同士の交流の機会、ご家族に対しての家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や研修会や情報提供。	・ペアレントトレーニングや家族支援プログラムとしての実施はできていません。送迎時や面談の際にその都度助言やアドバイスを伝えるよう努めています。 ・今年度は【保護者会】を実施することはできたので、次年度以降も開催できるよう検討しています。	・現時点では継続的に保護者会を実施できるよう検討しています。